

議 事 録

会議 名	金 属・セラミックス技 術委 員 会	主催者：電気 学会
日時	平成 22 年 4 月 28 日(水)	場所：日本交通協 会第 2 会議 室
出席者	- 瀬(電中研), 岩城(日立), 下 山(東大), 木村(古河), 敬称略	

【 提出資料】

- 1) 0428-1 平成 22 年 金 属・セラミックス技 術委 員 会分掌
- 2) 0428-2 平成 22 年度金 属・セラミックス技 術委 員 会活動計 画
- 3) 0428-3 名簿

【 議 事】

1 .金 属・セラミックス技 術委 員 会分掌

資料 0428-1により , 今年度も 昨年度と 同じメ ンバ - が 担当する ことになっ た。

但し、幹事補佐については、田中さんが退任したことで、後任の三村氏が就任すること
で了解済み。

委員 長の任期は 3 年間で あり、- 瀬委員 長も 今年で 3 年目を 迎え 最終年に あたる。

2 . 平成 22 年度金 属・セラミックス技 術委 員 会活動計 画

平成 22 年度金 属・セラミックス技 術委 員 会活動計 画に うち、研究 会なら びにシ ンボジウ
ムについて、審議 , 検討した。

2 - 1 . 研究 会

開催時期：ISS2010(11/1~ 11/3) の 前日(日曜日) に 開催する 計 画。

対象者：発表資格は “ 学生” と 若手企業 研究 者(30 歳以下) ?

発表形式：シ ョ - ト プレゼンテ - シ ョ ン(5 分) + ポ スター、総計 20 件程度

目的：分野を 超えた 若手研究 者の 横 の つ ながり を 持つ 機会を 提供

資料：2 ペ - ジ / 件→ 電気 学会が 販売する。(電気 学会規 約に 則る)

以上の 内容を ベ - スとして、他学会(応 物、低温 工学等) と 相談中。

2 - 2 . シ ンボジウム

「 超電導発見 100 周年記念シ ンボジウム」と 題して、平成 23 年 3 月 16 日-18 日大阪大
学で 開催する ことを 提案したい。

午前中、3 時間、午後は 4 時間。初日の 午後 4 時間を ベ - スに、講演者を 考えたい。

誰が 適任か ?→

濱島先生が、B 部門の 技 術委 員 長を やら れてい るので、そ ちらの 計 画と 相乗 り、ある いは
合同で 実施した 方が よい と思う。

金属系、酸化物系とわけられる。Bi+ MgB₂では熊倉先生が適任。

金属系では、井上廉さんが適任では。Super-GM の立上時の話も聞けると良いが。線材メーカーか？

以上の議論を踏まえて、まずは濱島先生と一瀬委員長が相談する。

3 . 名簿について

本会の委員について、昨年度のものを基本としているが、今まで一度も出席されていない委員、既にメーカを退職している委員については、委員を外すことにしたい。→ 了解。

現在、出席されている委員は、超電導を研究しているメンバーが主体だが、セラミック関係の人数が少ない。この人数の不均衡を修正すべきではないか、との意見が出された。
→ 吉川先生の意見を聞くことにする。

4 . その他

次回の委員会は、6月末~ 7月に開催する。

以上